

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東陶器小学校校舎外新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市中区陶器北2555番、26	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	学校集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	18,908 m ²	作成者	綱島茂隆
建築面積	4,287 m ²	確認日	2016年1月20日
延床面積	8,339 m ²	確認者	綱島茂隆



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 94%

③上記+②以外の: 94%

④上記+: 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・校舎棟は、中庭を囲んだ口の字配置。見通しがよく、自分の居場所がわかりやすい利便性と楽しさを兼ね備えた配置計画。・本計画では、ルーバーや庇、ライトシェルフといった環境制御装置を採用。・区画整理事業により宅地造成され緑が少ない計画地において、敷地際に多くの植栽を配置することで緑豊かな景観の形成を図る計画。		0
Q1 室内環境 ・普通教室部分に空調設備の導入と併せてペアガラス・厚35の断熱材を採用。 ・ライトシェルフによる屋光利用。庇による日射遮蔽。 ・シックハウス対策を考慮した計画。	Q2 サービス性能 ・バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たし、誰もが使いやすい施設として計画。 ・天井高さ2.75mを確保し、充分な広さ感、ゆとりをもった計画。	Q3 室外環境(敷地内) ・庇や縦ルーバー等を積極的に用いることで、壁面を分節し周囲の住宅地との関係に配慮した計画。・敷地内に十分な緑地の確保・多くの種類の植栽配置をすることで良好な景観を形成し、地表面温度や地表面近傍の気温上
LR1 エネルギー ・ペアガラスの採用・厚35の断熱材の採用により外皮性能を上げ、さらにライトシェルフや縦ルーバーにより、夏の熱負荷を軽減させるよう配慮。	LR2 資源・マテリアル ・各棟に使用しているビニル床タイルはグリーン購入法における「特定調達品目」を使用。	LR3 敷地外環境 ・雨水の流出抑制対策として指導された規模を満たすとともに、敷地内のほとんど舗装部分を透水性のインターロッキングブロック・アスファルト・コンクリート平板といった舗装を採用することで指導以上の雨水処理対策を実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺市東陶器小学校	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市中区陶器北2555番、2666番	1.3	
	主用途/延床面積	学校 / 8,339.16 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電による自然エネルギーの利用	
特に配慮した事項	
ライトシェルフや縦ルーバーによる日射制御	